

みずのわ

学校だより
【第8号】
令和5年10月31日(火)
石巻市立石巻小学校

150周年記念学習発表会を終えて

10月21日、石巻小学校150周年記念学習発表会一般公開を、4年ぶりに多くの御来賓の皆様のお臨席を賜り、また御家族の参観人数を制限することなく、盛大に開催することができました。どの学年も150周年記念に合わせて内容を工夫し、一生懸命に練習してきたことを精一杯発表しました。

18日の児童公開も4年ぶりに1年生から6年生までの全児童が体育館に入場し、自分たちの演目を他学年の児童の目の前で発表し、また他学年の発表を目の前で観ることができました。ここ3年間は、他学年の発表を電子黒板を用いたリアルタイム配信で観ていました。これも教育上、非常に大切なことですが、演者と観客が時間と場所を共有しての発表会は、ずっとずっとよいということを改めて確認できました。

体育館に、演者の息遣い、緊張感、熱意、不安等が広がります。演者は、観客の視線、受止めと反応等を感じていたはずですが、スポットライトが当たり、観客の様子や表情がよく見えなくても、感じていた（意識していた）と思います。拍手も直に聴き、体全体で受け止めることができます。これは、時間と場所を共有したリアルタイムでの発表だからこそできることです。コンサートや演劇、スポーツを会場で見るとTVで見るとの違いと同じです。ましてリアルタイムではないDVDや録画では、その違いは更に大きくなります。

子供たちは、児童発表会の後、他学年に対してメッセージを届けています。

これは6年生が1年生に送ったメッセージです。1年生教室廊下に掲示されています。



1年生が読みやすいように、漢字にルビを振ったり、ひらがなで書いたりしています。

「1年生さんらしい元気いっぱいの楽しい劇、すごかったです！いっぱいこうかいもがんばってください。」

「今日は、ステキな演奏をありがとうございました。1年生の皆さんの演技を見て、私たちももっと直した方がよいことに気付きました。一般公開も元

気いっぱいに演奏できるよう頑張ってください。」

「はじめてのがくしゅうはっぴょうかいなのに、おおきいこえをだせていてすごかったです。いっぱいこうかいもがんばってください。」



これは、1年生が2年生に送ったメッセージです。

「おじいさんやくのしゃべりかたがすごくじょうずでした。ほんばんもがんばってください。」

「かさじぞうのげきを、いちばんたのしみにしていたので、みられてよかったです。うたのこえがきれいでした。」

「2ねんせいが、はっきりいったところがいちばんすきでした。ぼくもはっきりできました。」

その他の学年も google クラスルームでメッセージを伝え合っています。

6年生へ「歌も綺麗な歌声だったし演技もすごく良くて石小の歴史とかも知れてよかった。また、途中で出てきた 君の名は の歌もすごく良かったです。」

5年生へ「僕は、音楽のおくりものを見て、改めて音楽は楽しいなあと思いました。ルパンやサムライの踊りが凄いいと思いました。」

4年生へ「私は、英語が好きでもっと英語をしゃべりたいなあと思っていたら4年生さんが素敵な英語の発表をしてくれてすごい勉強になったし4年生になったら英語ではっぴょうしてみたいなあとおもいました。」

3年生へ「私は、3年生の劇を見て元気いっぱいハキハキ喋る姿や楽器を器用に演奏する姿どれも最高でした。ソーラン節の踊りも見ていて楽しい気分になりました。」

どのメッセージも、良かった点や感心したこと、一般公開に向けての温かい励ましの言葉であふれています。他学年の発表を観て、自分たちの発表について振り返ったことを書いている児童もいます。他学年の発表のよい点を、自分たちの発表に生かそうという意欲を書いている児童もいます。

児童公開の発表を生で観合ったそのこと自体、そして観た発表について、相手に敬意を払いながら励ましのメッセージを書くという活動は、子供たちの成長につながる学習になったはずです。

「見てあげることが最高の教育。見られることは最高の学習。」

超赤字だった盛岡グランドホテルをわずか2年あまりで再建し、故 中内功オーナーにその手腕を買われ、後にダイエーホークスの球団代表に就任した高塚 猛 氏の言葉です。「見る、見られる」という行為が、教育効果を高めることについては、私も経験したことがあります。満員の観客の中で競技する選手の技能は向上しやすいと言われることとも一致しています。皆さんも経験したことがあるのではないのでしょうか。

家庭でも、地域でも、学校でも子供たちを「見てあげる」をこれからも忘れずに大切にしたいと改めて思います。